

草の根技術協力（支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	モンゴル国
2. 案件名	ウランバートル市内および近郊の遊牧民を含む住民を対象とした3歳児眼科健診の継続実施体制構築事業
3. 事業の背景と必要性	小児眼疾患の中でも弱視斜視に関しては、特に早期の治療を行うことで改善が見られ、その後の小児の人生に大きな影響を与えることとなる。日本では、3歳児眼科健診が、このような事例の早期発見の契機として活用されており、その後の効果的な治療へと結びついている。しかしながら、モンゴルにおける3歳児眼科健診は制度として形骸化しており、完全な実施には至っておらず、治療のタイミングを逸しているケースがみられる。また、医療を提供する側、医療を受ける立場がともに小児眼疾患に対する認識や理解に乏しい事も課題である。このため、モンゴルにおける小児眼疾患の早期発見、早期治療体制の構築は喫緊の課題と言える。
4. プロジェクト目標	ウランバートル市内および近郊の遊牧民を含む住民を対象とした3歳児眼科健診の継続実施体制が構築される。
5. 対象地域	ウランバートル市内および近郊
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	直接受益者：医療従事者10名、幼稚園および行政の各関係者5名、3歳児の保護者（遊牧民を含む）5名 間接受益者：3歳児100名、3歳児の保護者（遊牧民を含む）200名
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> 1. 3歳児眼科健診を主体的に実施できる組織（プロジェクトチーム）の結成と3歳児眼科健診の実施 2. 3歳児眼科健診を自立して行える検査員の育成 3. 行政関係者、保護者、民間企業等への啓蒙活動と連携 <活動> 1-1. 医療機関等において本提案事業の趣旨説明を行い、交流等を図る。（事業説明） 1-2. 本事業の趣旨に賛同する現地医療従事者（主に医師・看護師）を募集する。（募集） 1-3. 前記 1-2. で募集した現地医療従事者の中から本提案事業で中核となる人材を選定し、組織（プロジェクトチーム）を結成する。（組織の結成） 1-4. プロジェクトチームが主体となって3歳児眼科健診の実施計画を策定し、実施する。また実施後、その結果につき評価、反省等を行う。（組織の活動） 1-5. プロジェクトチームのうち数人を選抜し、訪日研修を行う。（訪日研修） 2-1. プロジェクトチームのメンバー（現地の医師、看護師、アシスタント）に弱視に関する教育を行う。（座学） 2-2. 実際にフォトスクリーナーを使用して取扱方法等の説明を行う。（座学） 2-3. 実際にフォトスクリーナーを使用して習得を図る。（実技） 2-4. 所定の評価項目をもとにフォトスクリーナーの習得度を測る。（試験） 2-5. 中京メディカルが策定実施する習得度試験において基準点を満たす検査員2名以上を育成する。（人材の育成） 3-1. 行政関係者、保護者、民間企業等を対象に3歳児眼科健診の実施結果報告会や啓蒙活動を行う。（3歳児眼科健診の意義や必要性の社会的な周知）

	3-2.行政、保護者、民間企業等の関係者との協働体制を構築する。（ステークホルダーとの協働体制の構築） 3-3.健診制度の持続可能性を確保するため、行政機能を強化する。（持続可能性確保のための行政機能の強化） 3-4.日本の眼科系学会（弱視斜視学会等）での活動報告、アニュアルレポート等による広報活動および賛同者の確保（日本での活動）
8. 実施期間	（西暦） 2 0 2 6 年 4 月～ 2 0 2 8 年 6 月（2 年 3 ヶ月）
9. 事業費概算額	9,978 千円
10. 相手国側実施機関（カウンターパート）	国立母子保健センター、ボローメルミー眼科病院
Ⅱ．団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	株式会社中京メディカル
2. 主な活動内容	眼科にかかわる医療従事者の教育育成、学術活動の支援、海外における医療支援等